

まちづくり環境委員会
令和4年8月15日

環境清掃部 資料6番

所管 環境計画課

令和元年度 大田区の温室効果ガス排出量報告 (2019年度)

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の算定結果から

1 算定過程・算定方法

(1) 算定過程 (令和元 (2019) 年度値)

算定過程		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度
統計データの公表	「二酸化炭素」の算定	← 随時公表 →		
	「メタン」「一酸化二窒素」 「代替フロン類」「六ふっ化硫黄」 「三ふっ化窒素」の算定		← 随時公表 →	
公表値を用いて算定				← 算定 →

- ・ 算定は国、東京都、その他関係機関が公表する統計資料を用いている。
- ・ 現在、算定可能な最新値は令和元 (2019) 年度となる。

(2) 算定方法

温室効果ガス
排出量 =

エネルギー消費量

×

エネルギー源別排出係数

電気、都市ガス、ガソリン、
灯油、軽油等

温室効果ガスに換算する係数

・ 電力消費量の計上方法

- ① 電気事業者の協力により、市町村別の供給電力量 (部門計) を把握
- ② 家庭部門は、家庭用と考えられる契約種別の供給電力量を計上
- ③ 産業部門・運輸部門は、都全体の供給電力量の按分値を計上
- ④ 業務部門は、他の部門の残差を計上

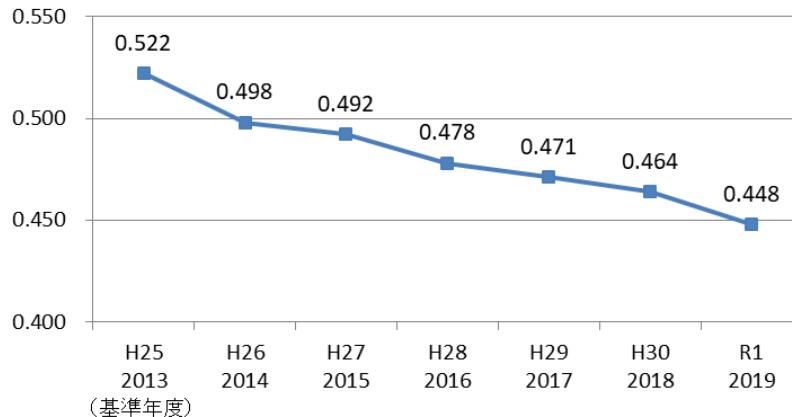
- ・ 吸収源を取り扱う地域は多摩地域、島しょ地域とし、特別区は含めない。

2 電気の環境性

(1) 電気の排出係数

電気の排出係数

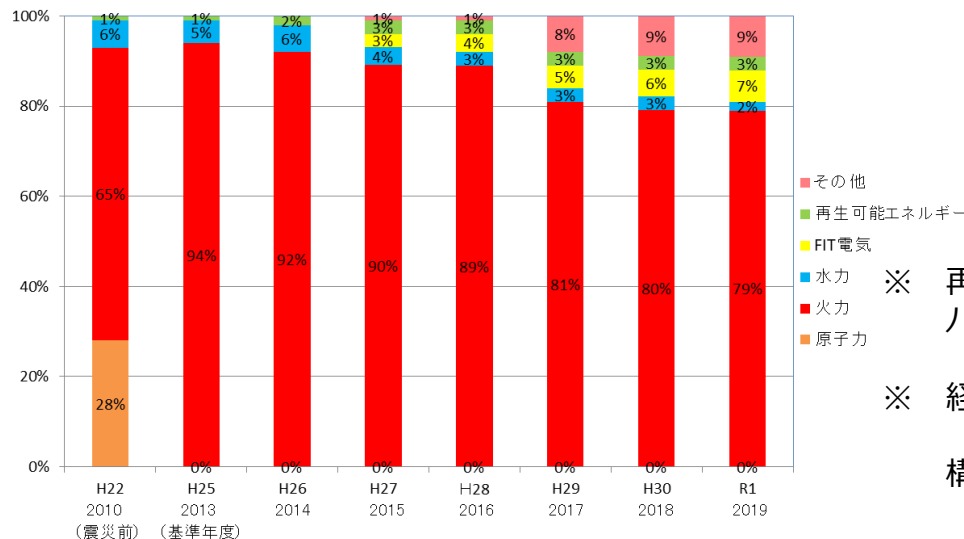
kg-CO₂/kWh



年度	電気
	kg-CO ₂ /kWh
H25(2013)(基準年度)	0.522
H30(2018)(前年度)	0.464
R1(2019)	0.448
H25(2013)年度比	-14.2%

令和元（2019）年度は、電力消費量1kWhに対し排出された二酸化炭素の量は0.448kg-CO₂でした。平成25（2013）年度と比較して、0.074kg-CO₂減少しました。

(2) 東京電力のエネルギー別発電電力量構成比

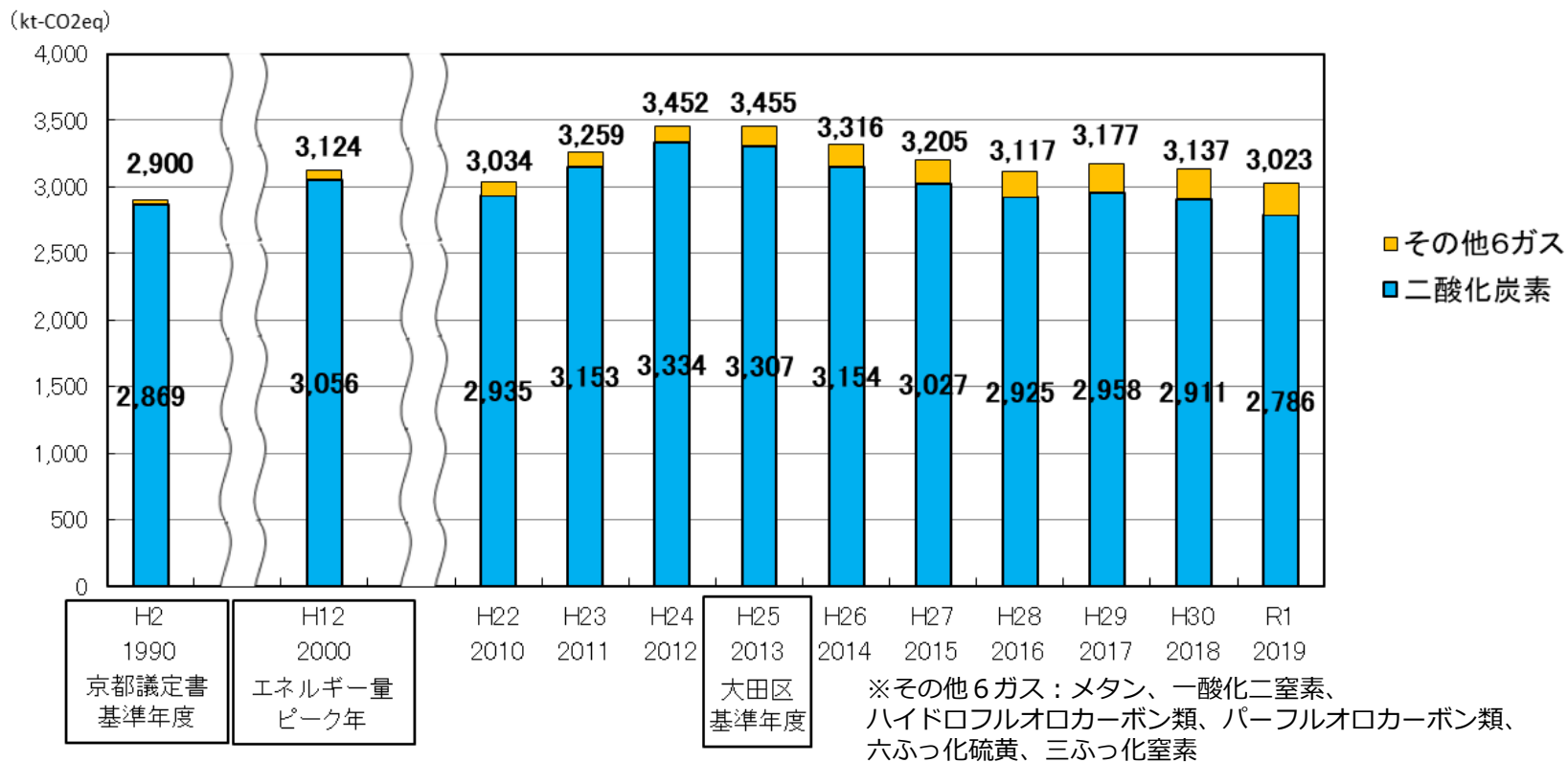


※ 再生可能エネルギー：太陽光、風力、水力、バイオマス、地熱のうち、FIT電気を除く。

※ 経済産業省「電力の小売営業に関する指針」（2015年1月制定）により、電源構成比の構成項目が変更されている。

出典：数表で見る東京電力、電源構成

3 大田区の温室効果ガス排出量



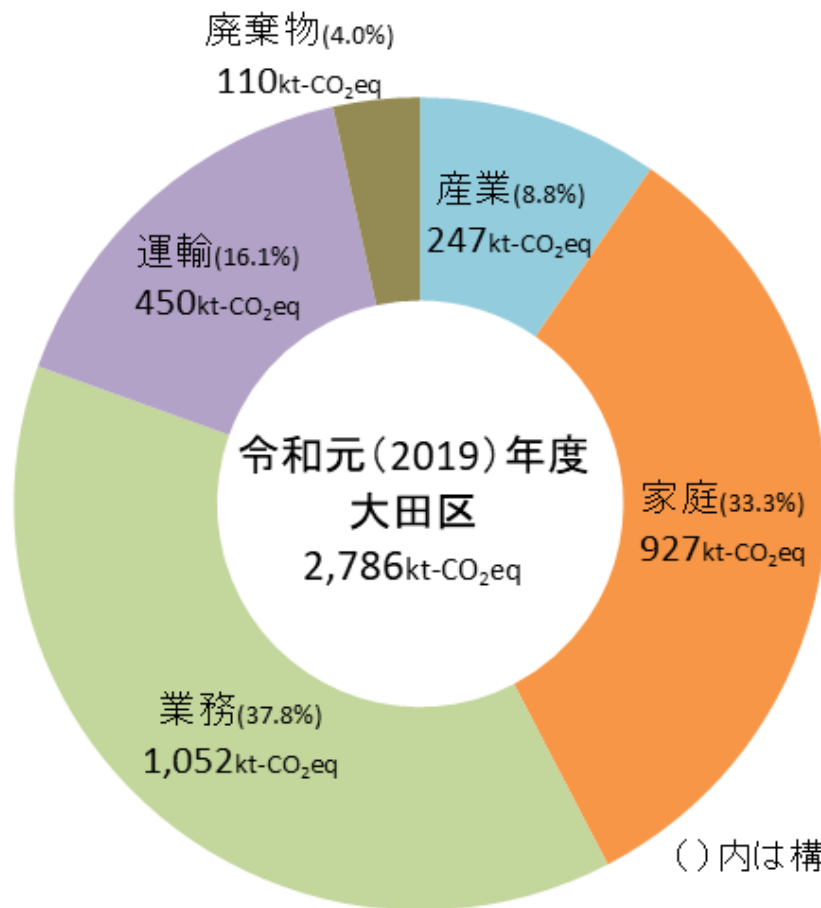
令和元（2019）年度 3,023kt（キロトン）-CO₂eq^{※1}
（内二酸化炭素 2,786kt（キロトン）-CO₂eq^{※1}）

平成25（2013）年度（基準年度）比 -12.5%

（大田区削減目標 令和12（2030）年度までに平成25（2013）年度比で
 -46%）

※1 CO₂eq：二酸化炭素相当量に換算した値を表す単位

3-1 部門別二酸化炭素排出量



平成25 (2013) 年度比
(基準年度比)

産業	-23.2%
家庭	-14.2%
業務	-15.1%
運輸	-21.5%
廃棄物	+20.2%
全体	-15.7%

()内は構成比

- 産業 : 農林水産業、建設業、製造業
- 家庭 : 家庭
- 業務 : 事務所ビル、大型小売店、ホテル・旅館など
- 運輸 : 自動車、鉄道 ※航空機、船舶は除く
- 廃棄物 : 一般廃棄物